

（A4 で2 ページ以内に収めてください）

更別村長 西山 猛 様

SARABETSU スーパーシティ構想の実現に向けて、下記のとおり提案します。

【タイトル】 清掃・見守りロボット犬

【提案者】（株）更別重工

更別太郎（代表取締役）

e-mail : taro@sarabetsujyuko.co.jp

URL: <https://sarabetsujyuko.co.jp/>

【共同参画】（もしあれば記入してください）（株）更別インフォメーションサービス

【技術支援】（もしあれば記入してください）十勝さらべつ大学

【提案内容】

5Gによる高速通信と人工知能による画像認識機能を搭載したロボット犬と犬小屋チャージステーションからなり、街中や農場内の見守り、清掃、施設の簡単な補修、道案内などを行うことを目的とする。

1. 街中や農場の見守りと清掃の自動化

ロボット犬（右図）は街中や農場を巡回しながら、画像及び人工知能による自律の見守りとオペレータ等による遠隔の見守りを同時に行う。ペットボトル等のゴミを見つけた場合にはロボットハンドにより自動的に回収する。100kg までの重量物を運搬できるため、冷蔵庫や古タイヤなどの不法投棄に関しては、…

ロボット犬は、生ゴミを見つけると犬小屋チャージステーションに運び込む。犬小屋チャージステーションは、これらを粉碎して微粒子とし、微生物発酵によって発電することで、…



2. 鳥獣害対策と生活圏の安全・安心の確保

本ロボット犬がシカやヒグマ等を発見すると直ちに高速疾走モードになり、大音量による警告音と非常に強力なフラッシュライトも併用しながら農場や居住地等から自動的に追い払うことができ、…

【費用見積もり例】（費用の規模感が分かる程度で書いてください）10 億円

ロボット犬 1 台 1200 万円、犬小屋チャージステーション 1 基 800 万円。50 台セットの場合 10 億円。

【サステイナビリティへの配慮】

（維持更新費用等を最小化する機能などを記入してください）

本ロボット犬及び犬小屋チャージステーションは、ステンレス、チタン等耐候性があり劣化しない素材のみから作られており、数十年以上にわたって使用できる。修理不可能になった場合でも金属材料として再利用できる。

【テレワーク雇用の創出効果】

（当該事業以外で新たに産み出されるテレワーク型の雇用があれば記入してください）

本ロボット犬が見ている画像や聞いている音は遠隔地に伝送される。本ロボット犬を介したガイド、目視による監視、施設の補修作業などは、自宅やリゾート地におけるテレワークあるいはワーケーションとして行うことができる。

【感染症対策、QoL 向上等新しい生活様式の実現】

（当該事業が新型コロナ等感染症リスクの軽減及び「生きがい」、「やりがい」、「快適」など QoL 向上に繋がるメリットがあれば記入してください）

本ロボット犬を用いた宅配を行うことで手渡しによる感染リスクがなくなる。釣り場や林間キャンプサイトへの食事の宅配など、ワーケーション向けサービスを展開できる。

【関連する岩盤規制内容】

（事業実施にあたり規制緩和が必要であれば記入してください）

電波法（無線周波数帯の開放拡大）、電波法第 39 条（免許人の電波利用料納付）緩和

【Web 公開】 不可

（不可の場合、公開可能になる日時を目安があれば記入してください。本村の SC 申請は公開となります）

2020 年 12 月 31 日以降は公開可能

【添付資料】 あり